

槍ヶ岳(3180m)

山行日：平成 23 年 7 月 16 日(土)～17(日)

メンバー：堀田、石津和

7 月 16 日(土) 晴れ

コースタイム：新穂高温泉ひがくの湯駐車場(7:25)－新穂高温泉登山口(8:08)－穂高平小屋(9:05)－白出沢分岐(9:57)－滝谷避難小屋(11:45)－槍平小屋キャンプ地(13:20)



槍平小屋キャンプ地（北穂高岳と涸沢岳が見える）

新穂高温泉の登山者用駐車場は満車。通路まで車であふれていた。ロープウェイ駐車場は明るくならないと開かない。やむを得ず向きを変え、鍋平高原入口手前のひがくの湯の駐車場へ入れて仮眠。料金は 2,000 円／日、ロープウェイ駐車場と同料金。2.4km も離れているため、時間が合えばロープウェイ駐車場が便利である。ちなみに我々は 2,300 円であった。

天気は快晴で時間が経つにつれ気温が上がり、滝谷を越えたあたりからほぼ熱射病状態で、堀田さんは気持ちが悪いと青い顔をしていた。快晴はありがたいがあまりにも暑すぎる。テントを張っても中に入ることができない。その上、No.24 エスパースマキシムで入口は吹き流しで風が抜けない。川で足を冷やし、缶ビールで涼を取ってのんびりと過ごした。

7 月 17 日(日) 晴れ

コースタイム：槍平小屋キャンプ地(4:15)－千丈乗越分岐(5:57)－飛騨乗越(7:19)－槍ヶ岳山荘(7:33－8:00)－槍ヶ岳山頂(8:15)－槍ヶ岳山荘(8:40－9:00)－千丈乗越(10:08)－槍平小屋キャンプ地(11:25－12:10)－滝谷避難小屋(13:03)－白出沢分岐(14:26)－穂高平小屋(15:09)－新穂高温泉登山口(16:00)－新穂高温泉ひがくの湯駐車場(16:30)

3時起床、4:15 出発。我々にしては超早出である。ヘッドランプを頼りに槍を目指す。先程まで頭上で煌々と輝いていた満月も奥丸山に隠れつつある。朝の冷たい空気の中、快調に高度を稼ぐ。飛騨乗越まで標高差 1000m、太陽に照らされる前になんとしても登り切りたい。



飛騨乗越からの槍



堀田さん初登頂(前穂北尾根もくっきり)

小屋泊まりの登山者が登頂した後で槍の穂先もまばら状態、大パノラマを堪能できた。

槍平からの下山も、昨日同様に暑さでふらふらになりながら終了した。

海の日を含む三連休は、新穂高の駐車場は大混雑。駐車不可能と言ってよい。平湯に駐車してバスで入った方が確実である。私は夏冬併せて5回トライして2回登頂、いずれも7月登頂だ。新人さん、槍ヶ岳へどうぞ。 (記 石津和利)